

ろくのへ 議会だより

第77号

平成25年7月19日発行

●編集/発行●
青森県六戸町議会



プール開き

7月2日、水温24.5℃
の中、六戸小学校6年生
39名が今年初の水泳教室
を行いました。

6月定例会で「**一般会計補正予算を可決**」… 2P
決めたこと

一般質問 **3名の議員が町政を問う**… 4P

議会活動報告 …… 7P

「傍聴席からより見やすくなりました」… 8P

●編集/六戸町議会広報委員会

〒039-2392 青森県上北郡六戸町大字犬落瀬字前谷地60 TEL:0176-55-3111(代表) FAX:0176-55-3112
ホームページ <http://www.town.rokunohe.aomori.jp> Eメール gikai@town.rokunohe.aomori.jp

総額 46億6,650万円 となりました。

議 内 容

6月定例会

6月定例会は、6月10日に招集され12日までの3日間の会期で開催されました。

町長から提出された議案は、25年度一般会計補正予算案、(仮称)六戸町地域包括支援センター建設工事及びバスセンター解体工事請負契約締結、六戸町職員給与を減額する条例案など6議案、報告14件を原案のとおり可決・承認しました。

また、議員発議により、意見書提出議案が出され、原案のとおり可決しました。
一般質問には、3名の議員が登壇し、理事者側の考えをたえました。主な内容は、次のとおりです。

議 案

◇六戸町新型インフルエンザ等対策本部条例を制定

— 新型インフルエンザ等対策特別措置法の施行に伴い制定—

◇工事請負契約の締結

- ・ 名称
(仮称)六戸町地域包括支援センター建設工事及びバスセンター解体工事
- ・ 請負代金
7536万9千円
- ・ 契約の相手方
六戸町大字犬落瀬字千刈田二番地八号
株式会社 佐藤建設
代表取締役 佐藤純一

◇六戸町職員の給与の臨時特例に関する条例を制定

— 国家公務員の給与の改定及び臨時特例に関する法律に基づく

報 告 (町長*専決処分報告)

国家公務員の給与削減支給措置を踏まえ、六戸町職員の給与を一律5%7月から来年3月までの間減額するもの—
(すべて全会一致で可決)

◇六戸町条例の一部を改正

— 地方税法等の一部改正する法律が施行されたことに伴い改正—

◇六戸町国民健康保険条例の一部を改正

— 国民健康保険法施行令の一部改正する法律が施行されたことに伴い改正—

◇六戸町原子力発電施設等立地地域における固定資産税の特別措置に関する条例の一部を改正

◇六戸町承認企業立地計画に従って設置される施設に係る固定資産税の特別措置に関する条例の一部を改正
(すべて全会一致で承認)

◇24年度一般会計*繰越明許費繰越計算書

- ・ 事業名
「六戸町地域防災計画」追録業務委託
- ・ 25年度繰越額
196万358円
- ・ 25年度に繰り越しました。

*発議 (議員提出議案)

◇PPPへの参加反対を求める意見書提出

— PPPへの参加は、農業や食料・医療・雇用など地域経済の破壊につながりかねないことから、PPPへの交渉参加を行わないことを政府に求めるため、意見書を提出しました。—
(全会一致で可決)

*専決処分とは

議会の議決を必要とする事項であっても、町長が議会を招集する時間的余裕がない等の理由があれば、議事に代わって町長の権限で処理できる。(地方自治法第179条より)

*繰越明許費とは

年度内に支払が終わらない見込みのあるものについては、予算の定めるところにより、翌年度に繰越して支払できる。

*発議とは

議会において議事の対象となるべき問題を提出することをいいます。



平成25年度一般会計1,850万円を追加し、

主 な 審

24年度各会計補正予算（いずれも町長専決処分）

会 計	補 正 前	補 正 額	補 正 後	補正の主な内容
一 般 会 計	48億7110万円	450万円	48億7560万円	国保・後期高齢者・介護保険各特別会計への繰出金 1630万円 国保病院特別会計補助金 3740万円 除雪経費 △243万円 住宅費実績により減額 △1212万円 下水道特別会計繰出金 △160万円
国民健康保険事業特別会計	13億6426万円	△5052万円	13億1373万円	各事業費確定により減額
下水道事業特別会計	3億4947万円	△177万円	3億4769万円	各事業費確定により減額
農業集落排水事業特別会計	1億3005万円	△248万円	1億2756万円	各事業費確定により減額
介護保険事業特別会計	12億4147万円	234万円	12億4382万円	各事業費実績見込精査により増額
後期高齢者医療特別会計	1億1083万円	151万円	1億1234万円	現年保険料・広域連合負担金確定により増額

25年度一般会計補正予算（全会一致で可決）

会計名	補 正 前	補 正 額	補 正 後	補正の主な内容
歳 入	46億4800万円	1850万円	46億6650万円	社会資本整備総合交付金 660万円
				前年度繰越金 1022万円
				B&Gセンター修繕助成金 △180万円
				コミュニティ助成事業交付金 159万円
				町村の魅力発信事業助成金 97万円
				光ケーブル移転補償金 77万円
歳 出	46億4800万円	1850万円	46億6650万円	コミュニティ助成事業補助金 160万円
				光ファイバー移設工事費 77万円
				標準宅地鑑定評価業務委託料 424万円
				食の交流創出イベント事業補助金 88万円
				路面性状調査等委託料 1100万円
				B&Gセンター塗装工事取りやめ △380万円



こうさか しげる
高坂 茂 議員

六戸町の健康寿命と 県一を目指しての取り組みは

町長 — 町民の健康意識への喚起が重要

問 六戸町の平均寿命と健康寿命の順位は

町長 当町は、男76・7才、女84・4才で県平均を下回っている。健康寿命での青森県は、男68・95才、女73・34才で男は全国最下位、女は31位になっていますが、当町のデータはありません。

問 高齢化の時代、健康でなければ医療費等が掛かるが、その対策は

町長 介護を受けなくして元気に暮らすことを前提に、保健活動を実施しており、その中に湯遊クラブなどがあります。

問 湯遊クラブ以外の県からの健康に関する具体的な通達等は

町長 お出かけ教室とか、元気はつらつ、元気アップ教室など行政サイドとして実施してい

ます。なお、国・県からの具体的な指示はありません。

問 長野県は長寿県で、青森県は短寿県であるが、その違いをどのようにとらえるか

町長 長野県は減塩運動を地道に取り組んだことと、健康に関する事業を積極的に推進したこと。本県は健康に対する意識が低いことが要因ではと考えます。

問 包括支援センターでの新たな施策の取り組みは

町長 具体的な取り組みに関し、これから担当者と相談しながら対応していきます。

問 健康寿命県一を目指す考えは

町長 生活習慣病の予防対策や、特定検診率の向上など健康意識の喚起に努め、結果として健康寿命の県内一につながるのでは。

ゴミ不法投棄の対応と 町の美化運動

町長 — パトロールによる人的対応を継続

問 ゴミの不法投棄パトロールに関する取り組みの検証は

ただ対応します。また、当町の処罰の例はありません。

町長 ゴミ不法投棄監視パトロールは、4月から11月まで毎週2回実施し、その中で発見した投棄物の回収、資源ごみの持ち去り防止パトロールをしている。一定の効果があり今後も継続したい。

問 社会福祉協議会発行の「コラボ」紙面に春のクリーン大作戦の記事が載っており、大変感銘を受けておりますが、町全体で年一回のクリーン作戦を実施したらどうか

町長 現在町内では、町内会や各種団体等でゴミ拾いや、側溝の清掃等が自主的にされているので、町一斉でのクリーン作戦は考えていません。

問 パトロールの路線に対しての指示は。また不法投棄者における処罰の例は

町長 巡回パトロールの方が、道路事情などをより理解しているので行政サイドでの指示はしておりません。なお、不法投棄物等がありましたら、役場にご連絡いた

問 町道の道路脇の雑草が伸びており、また、歩道部分にも土砂が堆積し、美観上も良くない。これらの対応は

このようなことから、地域としてみんなが奉仕の心でもって取り組んでいければと思っています。

問 町道館野金矢線の植樹マスを緑と花で美化し、六戸町の象徴的な道路としては

町長 美化運動に関わるご質問ですが、官庁街道路においても、老人クラブ等、多くの方々のボランティアで花植え、草取りなど自主的に協力し大変感謝しています。



かわむらしげみつ
川村重光 議員

特産ブランドにつながる 補助事業を行うべきでは

町長 — 積極的に支援したい

問 自由貿易拡大基調の中で、政府の成長戦略が打ち出されている。

農家の大規模化、農業所得倍増などの目標を掲げているが、六戸町の農家を代表する農業委員会の見解は

農業委員会

六戸町

米と野菜の複合個人経営が多い農業経営では、すぐに法人化や集落営農組織へ移行するわけにはいかない。

比較的経営規模の大きい担い手農家へ集積を図り、規模拡大をめざしていくことが、早道ではないかと考えています。

また、新規就農者を含めた多様な担い手の確保に対する取り組みや、野菜等の機械化・規模拡大などの生産体制の整備が図られ、真に「農家が生産する喜びを実感できる」農業・農村になれるよう、今後ともその実現に向けて、農業委員会としても要望を続けたいと考えています。

問

農業委員会は、農地行政以外に、

当町の農業振興のありかたを、施策に反映させる事も役割と思うが、町の農業施策に対して提案や答申をされているか

農業委員会

地域の

代表する立場として、町行政の様々な協議会・委員会など各種団体から選任されており、会議などの機会を通じ意見をかわし、また、要請などもしています。

今後とも行政に対し、様々な機会を通じ、意見



農作業の様子

・要望等を反映させるよう努力したいと考えています。

問

人、農地プランの取り組みについて、現況と将来の成果の見通しは

町長

人・農地プラン

は、「農業における人と農地の問題」を解決するため、地域において話し合いを行い、「集落・地域が抱える問題を解決するための未来の設計図」となるプランとされています。

町としては、アンケート

ト調査を実施し、その結果を踏まえ、座談会を開催し、地域の同意を得て検討会議を開催。この3月に決定しています。

そのプランには「経営体の育成支援事業」などの制度的な支援策が用意されており、

六戸町も、こうした国の制度の普及・啓発はもちろんのこと、町の実情にあつた方策で、制度が活用できるよう、関係機関や農家の皆さんと話し合いながら進めていく考えです。

問

農業振興費の補助金は、毎年同じ

ような事業に偏っているように思われる。

農産物の輸出倍増戦略で、ながいもが重点作物と位置付けられている。当町において作付面積の多い、根菜類（長芋、ゴボウ、大根、人参）も、六戸町特産ブランドとして、強化につながるような補助事業を行うべきと思うが考えは

町長

これまで、町内各種団体等の計画・要望等に基づき、農業振興上あるいは農業の経営安定や活性化に役立つと判断した事業に助成等を行っており、決して偏っているという認識はございません。

また、六戸町において作付面積の多い根菜類のブランド化・強化ということですが、これらの輸出を本格化するためには、全農や大手商社などの力によるところが多く、強力な流通基盤が必要です。そして、農産物の地域ブランド力を持つ産地化や大規模な農業法人などによる輸出向けの生産体制が条件となるなど、生産・流通ともに難しい課題が多いのではないかと認識しています。

いずれにしても、生産流通対策の一環として、産地の強化は必要であり、六戸町の特産野菜に係るそういった施設要望等があれば補助事業を含め、積極的に支援していきたいと思っておりますので、ご理解を賜りたいと思っております。



すぎやましげお 杉山茂夫 議員

役場・病院職員の接客対応は

町長 — 接遇の向上改善に努力したい

問 町の庁舎など各施設を利用する町民に対し、接客に関する「職員行動指針」があるか

町長 職員の接遇は常日頃から気にかけているところであり、課題として取り上げていかなければならないと感じています。

現在活用している「行動指針」はありませんが、過去に作成した指針があり、今一度見直して、接遇の向上改善に努力をしたい。

問 住民票など各種申請手続きに慣れない町民に対し、どのように対応しているか

町長 交付等の申請書を色分けしているほか、記入例を掲載しています。

また、来客された方では申請手続きが不慣れな方には、職員が直接、記載の方法や添付書類等について説明し、記入していただきます。窓口では、日頃より、

接客態度や服装に十分に気をつけて、気持ちよく利用していただくよう心がけていますが、個人情報や本人確認の徹底などで、これまでとは違う対応もありますので、お気づきの点がありましたら、今後ともご指導くださるようお願いいたします。

問 町行政に長年携わってきた役場職員OBを活用し、庁舎ロビー等で各種申請に訪れた町民への対応を考えたらどうか

町長 総合案内的な人員を配置してはどうか、という件については、職員全体の定員管理や財政上の問題もあり、職員を増員することは非常に難しい問題です。案内看板の設置や現在の職員の配置等で、訪れた方々にもわかりやすい対応を行っていききたい。

問 役場を訪れる町民に、職員自ら「何かご用事ですか」と声かけし「町民のお役に立つ」という積極的な気持ちで対応すべきでは

町長 役場玄関ロビーから左右の各課カウンターが離れているという構造的なこともあるが、今改めて役場に來れる方への対応を、職員からの声かけとともにデスクの配置も含め考えていきたい。

問 町立病院の患者への対応について「病院職員の行動指針」等があるか

町長 当病院では、全国自治体病院協議会で作成した倫理綱領を指針としています。

問 町立病院の外來患者に対して「声かけ対応」をする相談職員がいれば、会話を通じて患者の不安を軽減しながら、一層のサービスの向上が図られるのではないか

町長 ご指摘のとおり、相談員を配置して声かけをすることで来客者への不安感がいくらかでも和らぐと思います。

現在は、特に声かけ対応の相談職員は、配置していません。同様の対応は、看護師3名で行なっています。その他に毎週木曜日には、総合相談窓口も開設していますので、



町立病院の倫理綱領

今後とも看護師等に対し、気兼ねなく相談していただければと思います。また、職員もこれまで以上に声かけをするよう心がけていきたいと思いますので、ご理解を賜りたいと思います。

問 町立病院では、わざわざ薬剤師が自ら外來患者の椅子に向いて薬の説明を丁寧に行っている。

忙しい中でも、気持ちを通う「おもてなし」の言葉と「お役に立ちたい」という思いで患者に接していただきたい

町長 スタッフが少し合いながら、公の立場で町民のために頑張るといふ姿勢で努力してまいります。



役場受付の様子

県下町村議会議員研修会

県内の町村議会議員が一堂に会し研修



【講師】 政治評論家 浅川 博忠氏
【講演】 「これからの政局・政治はどうなる！」



講師 浅川氏



7月11日、青森市市民ホールにおいて、県下町村議会議員を対象とした「県下町村議会議員研修会」が開催され、当町議会より11名の議員が出席しました。

講師は、政治評論家 浅川 博忠氏、『これからの政局・政治はどうなる！』と題して講演しました。

今後の政治は、海外から信頼されるために、安定した政治が求められることや現在の出生率1.4人から2.1人にする少子対策が必要であることを強調した内容でした。

議会の日々(25年3月～5月)

3月

- 1日 六戸高校卒業証書授与式
- 青森県農業経営士認定祝賀会
- 4日 第1回議会定例会(～11日)
- 町議会総務常任委員会
- 4日 町議会総務常任委員会(一般会計)
- 6日 予算特別委員会(一般会計)
- 7日 予算特別委員会(特別会計)
- 7日 町議会総務常任委員会
- 8日 六戸中学校卒業証書授与式
- 町議会広報委員会
- 11日 十和田警察署員歓送迎会
- 18日 六戸小学校卒業証書授与式
- 22日 六戸小学校卒業証書授与式
- 23日 開知小学校卒業証書授与式
- 24日 上北自動車道上北道路開通式
- 町議会広報委員会
- 26日 六戸町観光協会総会
- 28日

4月

- 2日 町議会広報委員会
- 4日 十和田地区「春の全国交通安全運動」に伴う総決起大会
- 6日 六戸町春の交通安全祈願祭
- 8日 六戸小学校入学式
- 12日 町議会産業民生常任委員会
- 町議会総務常任委員会
- 町議会全員協議会
- 18日 六戸町教育振興協議会総会・教育講演会

5月

- 9日 八戸海上自衛隊観校会
- 10日 町議会全員協議会
- 13日 戦没者追悼式
- 17日 上北郡町村議会議長会定例会
- 18日 六戸町交通安全協会定時総会
- 19日 六戸中学校運動会
- 20日 七百中学校運動会
- 21日 青森県鉄道整備促進期成会総会
- 21日 上十三身体障害者福祉連合会定期総会
- 23日 十和田地区交通安全協会表彰式・評議員会
- 23日 八戸西インターチェンジ建設促進期成同盟会定例総会
- 24日 春季県グラウンド・ゴルフ交歓県南地区大会
- 25日 開知小学校運動会
- 28日 全国町村議会議長・副議長研修会(～29日)
- 26日 館野公園山開き(～5月2日)
- 18日 六戸町体育協会定時総会
- 23日 上北郡町村議会議長会監査会
- 25日 中学校交流20周年記念訪問(アメリカ・キタリー町)



「私の議会傍聴体験記」

田中 義明（舘野）

六戸町議会6月定例会に行ってきました。

テレビの国会中継や予算委員会のように、ヤジや怒号はありませんが、一般質問が一問一答方式になったこともあり、再質問の答弁など町長の原稿にないユーモアを交えた、やりとり等が聞けておもしろいですよ。

しかし、議会の審議は、形式的で書類の棒読みの感じがするのは否めません。

議員の皆さんも、もっと質問の内容を深く調査し、突っ込んだ内容の質疑を期待しています。

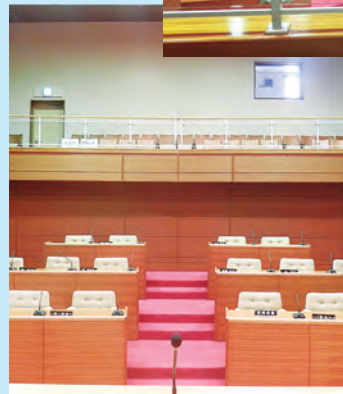
そして、より多くの町民の傍聴を促すため、町の何ヶ所かの議会開催の案内だけでなく、町の防災無線などで広報したらいかがでしょうか。

町民の皆さん、議会の傍聴に行きましょう。皆さんが選んだ町長と議員のやりとりが、目の前で見て聞けるわけですから。議場の傍聴席の手すりも無くなり、大変見やすくなりましたよ。



議会広報委員会では、町民の皆様のまちづくりに対するご意見、ご要望の投稿を募集しています。どしどしお寄せください。お待ちしております。

傍聴席がリニューアルし、議場がより見やすくなりました。



6月定例会

傍聴者は延べ6人でした。

議会は町政を知る良い機会です

次回定例会は、9月上旬の予定。また、決算特別委員会（24年度決算審査）が開かれます。

定例会の日程及び一般質問者・内容を町内12か所に掲示しますのでご覧ください。

詳しくは議会事務局までお問い合わせください。

◆お気軽にお電話ください
六戸町議会事務局（直通）
☎0176-55-4547



編集後記

『光陰矢の如し』と申しますが、長い冬、寒く雨不足の春がようやく過ぎ去ったと思つたら、もう七月です。

天候不順による今後の農作物の生育が気になります。

今年の自分を振り返って見たら任期がターニングポイントを過ぎ、残すところ一年九カ月になりました。

議会定例会終了後、毎回広報委員会を開催し、町民に読みやすい広報を届けるために、どうすれば良いか検討を重ねておりますが、発行後、町民の目線が気になります。

今後とも読みやすい議会広報を目指して努力して参りますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

下田 敏 美

議会広報委員会

委員長 河野 豊
副委員長 杉山 茂夫
委員 高田 輝夫
副委員長 附田 敏夫
委員 下村 重光

発行責任者

議長 苦米地 繁雄